

2023年度第1回日本学連臨時幹事会議事録

2023年度第1回臨時幹事会議事録

【日程】2023年5月11日(土) 21:00 ~

【開催場所】Zoomを用いたオンライン開催

【議事録作成者】鎌倉京平(筑波大学)、西澤汰知(東北大学)、島田智也(名古屋大学)

【目次】

1. キャンパスOツアーについて	3
2. 宿泊斡旋について.....	3

2023年度第1回日本学連臨時幹事会議事録

出席者(敬称略)

氏名	役職	学校名
浴本 悠貴	前幹事長	神戸大学卒
市川 竣介	幹事長	筑波大学
大石 遥	副幹事長	新潟大学
遠藤 陽太	会計	東京大学
徳力 雅哉	事務局長	立命館大学
川瀬 智尋	事務局員	奈良女子大学
宮川 葵衣	普及部長	東京理科大学
坂本 拓登	普及部員	北海道大学
森 創之介	事業部長	横浜国立大学
鷲津 加子	渉外部長	東北大学
鎌倉 京平	広報部長	筑波大学
島田 智也	広報部員	名古屋大学
西澤 汰知	広報部員	東北大学
柴崎 愛有	技術委員会	新潟大学
千葉 望央	北東学連幹事長	宮城学院女子大学
市川 優人	関東学連幹事長	早稲田大学
舘 直輝	東海学連幹事長	名古屋大学
吉岡 春樹	関西学連幹事長	京都大学
一戸 厚志	中九四学連幹事長	広島大学

2023年度第1回日本学連臨時幹事会議事録

1. キャンパスOツアーについて

森:今年度はキャンパスOツアーを開催したい。2019年に開催したが、コロナで途絶えた。現在声をかけているのが東大大会前日大会、筑波大大会、広大大会である。多いに越したことはないので、作成した依頼書を各大学に送りたい。
大会の要項にキャンパスOツアーの旨を載せてもらう。

2019ではルールが複雑であったが、今年度は比較的簡易なルールで行いたい。

最終戦終了後の総得点の発表は春インカレの後の予定である。

東大大会のエントリーが開始してしまっているのが懸念点。ルールでは最上位クラスのみ集計するとしているが、東大大会で最上位クラスが定員オーバーしていることを考慮してポイントを集計しようと考えている。

こちらの要望としては、エントリーの際に所属を変更してもらう。
資料には事務局が判定すると書いてあるが事業部が判定する。

徳力:キャンパスOは渉外が難しい印象があるが、今年度キャンパスOがたくさん開催できる目途はあるのか。

森:将来的に難しい大学が多いが、東大大会、筑波大大会、広大大会以外にも新潟大学や横浜国立大学の5つの大学で開催できるような想定である。

加えて関西で開催できないか事前に聞いている。大阪大学で開催することができるか。

市川:エントリー時に注意事項として所属を関東大学2のように表記とあるが今のところ書かれていないように思われる。

森:東大大会については、事業部の動きが遅かったために周知が遅れた。早急に資料を共有して周知したい。

坂本:個人戦ではなく大学対抗であるのか、意図はあるのか。

森:大学対抗の予定である。基本的に2019年を踏襲していて、キャンパスOを開くことにまず意味を感じている。表彰などにこだわりはない。

広報の内容についてはまた打ち合わせをする。

2. 宿泊幹旋について

春インカレ宿泊幹旋問題の今後の方針について浴本から説明。
詳細は資料参照のこと。

坂本:ホテルニュー塩原のホテル代に幅があるのはなぜか。

2023年度第1回日本学連臨時幹事会議事録

浴本:3月中旬に卒業旅行などの需要があり、ホテル代が高騰するため、この時期の価格には幅がある。

鎌倉:今回のインカレミドルリレーでは旅館タイプとビジネスホテルタイプが選択できたはずだが、選択した方でないタイプに宿泊することになった大学はあるのか。

浴本:おそらく両方いる。

大石:新潟大はビジネスホテルタイプを希望していたが、大学内でそれが共有されておらず、大学内で不満が出てしまった。

鎌倉:ホテル間の設備の差等が要項に明記されていた中で、大学がそれを選択したのであれば仕方ないのではないか。

旅館タイプとビジネスホテルタイプの金額の差を顕著にしてもいいと思う。

浴本:2010年度の春インカレでの宿泊形態はどうしたのか調べる必要がある。

納得した上でビジネスホテルタイプを選択できればいいと思う。

要項が出る前に日本旅行に対して金額について話すべきである。

全員が旅館タイプに泊まることは難しい気もしているので、もう少し解決案を模索していく必要がある。

鎌倉:日本旅行と打ち合わせができるのならば、昨年度の春インカレは全員を旅館タイプに収容できる想定だったのか聞く必要があると思う。

市川:昨年度の春インカレでは、ビジネスホテルタイプは定員600人と要項2に書いてあったはず。

浴本:今回の参加者は500名ほどであったので収容できた。今回ニュー塩原を選んだ学校のみそちらに宿泊した。

理想は全員が旅館タイプに泊まれることではないか。

坂本:学生全員が旅館かビジネスホテルのどちらに宿泊するのであれば、旅館のほうがいいのか。

大石:新大では後輩から、金銭面からビジネスホテルタイプがいいと聞いていた。大学によって交通費が違うのでそれも理由があるのでは。

浴本:すべての大学が同じ宿泊形態のほうがいいと思う。

宮川:質は下げてもいいから、値段を下げてほしいのが一番の学生の意見ではないか。

浴本: そうであると思うが、そもそも大会が成立しない可能性があるのではないかと。

すべての学生が止められる大きな駐車場がないかもしれない。また、宿泊斡旋をなくした場合、バス輸送がなくなるかもしれない。

秋と違って開会式や後夜祭などのイベントがあり、移動は日本旅行に任せている形で成立している。

大石: 山川さんと日本旅行のやり取りはあったかもしれないが、今回の後夜祭はバス移動や宿泊斡旋はなく、自力の移動であった。

宮川: 開会式はズームでも良かったのではないかと。そのために斡旋の必要性があるのなら必要ないのでは。学生の声を入れるべき。

遠藤: インカレ参加者を増やすという観点において問題になる層の意識と、山川さんが想定しているような層の意識が異なっていることを考慮する必要がある。例えば開会式参加に対する意識が異なっている。

バス輸送は日本旅行を介さずにもできるはずだが、運営者の負担が大幅に増える。

浴本: 宿泊斡旋をなくすことが可能か不可能か、過去のインカレ運営者の声を聞いてみた。詳細は別途資料参照のこと。

おそらく可能な年と不可能な年があり、両方の意見が見られる。

不可能と言っている人がいる以上日本旅行さんとの関係を切ることはインカレ持続性に問題があり、今年度は日本旅行にお願いすることを継続させる予定。

一番の目標をインカレ継続とするならば、斡旋をなくすべきではないと考えている。

バスの手配が出来る年、出来ない年もある。

宿泊斡旋の仕事を実行委員会に任せるのは負担であるために、日本旅行に依頼している。現実的でないが、その部分を学生が担当すれば安く済む。その場合、日学の事業部などが担当することになり、担当者はかなり大変である。

宿泊斡旋のせいで参加費が高額であり、そのために将来的にもっと参加者が減るのであれば、宿泊斡旋をなくすべきだと考えている。

今年度は日本旅行さんに斡旋をお願いしつつ、将来的にはなくす方向で考えている。

今年度については資料の通りの方針で進めたいが、来年度以降も議論し続けてほしい。

いざ問題が起きた時に、日本旅行との関係をリカバリーできないので切れない。

2023年度第1回日本学連臨時幹事会議事録

遠藤: 遠方の大学のみ宿泊斡旋しない方針の根拠として、遠方の大学の費用は宿泊斡旋ありだとかなり割高である。宿泊斡旋を行わないのであれば、春インカレにかかる費用は大幅に安くなることを、総会では強調すべき。

北大や広大は人数が少ないので日本旅行も許容してくれるのではという認識で合っているか。

浴本: 遠方の大学 = ほぼ北大、広大という認識をしている。

坂本: 北大の人数がもっと多かった場合はどうなるのか。

遠藤: 先ほどの運営者アンケートを見ると、少人数クラブであれば斡旋から外すことも可能であったので、総会ではそのような説明を加えてもいいのではないか。

浴本: 遠方の大学は北大と広大で大丈夫か。

坂本: 大学ごとに宿泊斡旋の相談をするのはどうか。日本旅行と大学の間で宿泊斡旋するかどうか交渉するのはどうか。

遠藤: 日本旅行的には却下されると思う。
日本旅行はすでに夜明け前周辺の宿を抑え始めているのではないか。

浴本: 今年度限りの措置であり、春インカレの開催地も決まっているため、こちらで対象大学を指定してもいいのではないか。

市川: 宿泊の斡旋を自由化した場合、実際に交通や移動はどうするのか。

浴本: 秋と同じになる。

市川: テレイン選定時は駐車場を考慮しないのではないか。

遠藤: 宿泊の斡旋が自由になった時は、運営は駐車場が十分にあるテレインを選ぶと思う。

浴本: 遠方の大学は指定してもいいか。

市川: 今年度限りであるならいいと思う。

浴本: 夜明け前は広大と東北大の距離は同じくらいでは。今年度は北大だけでもいいのではないか。

宿泊斡旋の自由化が北大のみになったら広大はどう思うか。

2023年度第1回日本学連臨時幹事会議事録

一戸:絶対に反対という人はいないと思う。

浴本:各大学がインカレ交通費を試算して北大が明らかに高額であると示せば、総会で理解を得られるのではないか。

坂本:遠方の大学の定義は後泊の必要性があるかないかだと思う。
北大だけ許すとすると意見書出したもの勝ちという印象になるか。

市川:広大、北大、東北大から交通費の試算をしてもらおう。

浴本:地区学連ごとに交通費の試算をってもらうのはどうか。(北東は2校)

市川:各地区学連幹事長にお願いすることになる。大学の住所から夜明け前までにかかる交通費、移動にかかる時間の2点を見積もってほしい。
これからの方針として、地区学連から資料を集め、北大が費用等の面から明らかに不利であると示し、総会に向けて資料を作る。

ここまでの話を聞いて、宿泊斡旋を無くしたいという人はどれだけいるのか。
春インカレの費用が高くて、宿泊斡旋はしょうがないと思う人…6人程

市川:後夜祭や開会式などのイベントをなくしてまで安くするべきかどうか話し合うべき→次の幹事会で

地区学連の交通費時間の見積の締め切り
5/26まで

坂本:北大だけでなく、他の大学も含めて遠方の大学として、初めに表現していたのはなぜか。

浴本:広大も北大と同程度に交通費が高いと考えたから。

以上で2023年度第1回臨時幹事会を終了とする。